

# 表札に立体的な文字を入れる方法（切り文字・立体文字）

表札に立体的な文字を入れることができます。



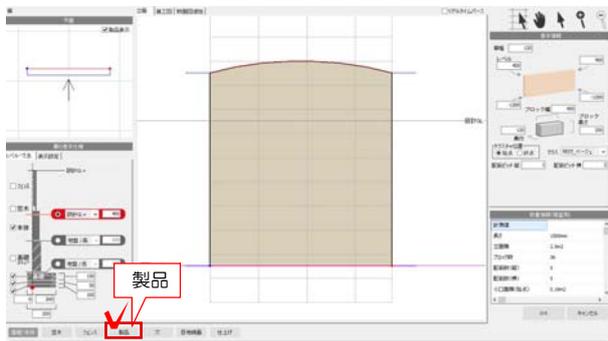
ロートアイアンやステンレスの表札に切り文字や立体文字を入れる基本の方法です。

塀デザイナーからeE-Fomerを起動して、アイアン表札に文字を入れたり、切り文字の表札を作成することができます。



レイヤは「ユニット」

Wクリック



1 門袖をWクリックで起動し、高さや天端形状の設定をします。

2 製品をクリックして表札を検索します。

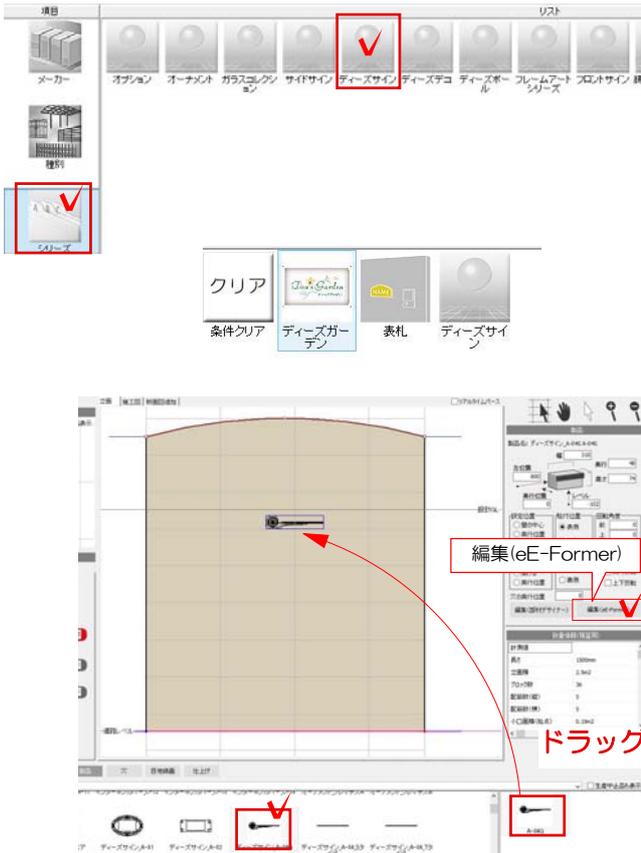


3 メーカーを選択します。  
例：ダイーズガーデン



4 選択している条件を、表札以外をクリックして解除します。





5 シリーズを選択します。  
例：ディーズサイン

6 画面下のディーズサイン\_A-04Gを選択して、画面上にドラッグで配置します。

7 配置した表札を選択した状態で画面右の編集 (eE-Former) をクリックし、eE-Formerを起動します。

**【図面上に直接表札を配置して文字を作成する場合は】**

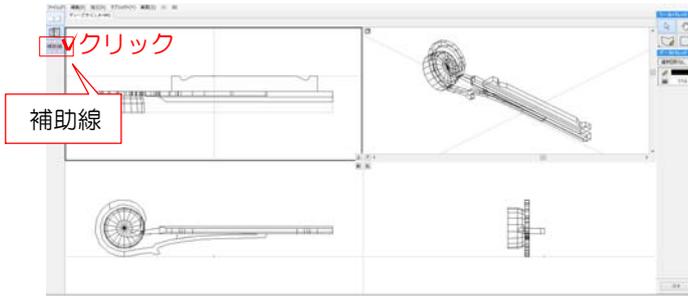


1：ユニットレイヤで製品をクリックします。表札を選択し図面上にドラッグで配置します。

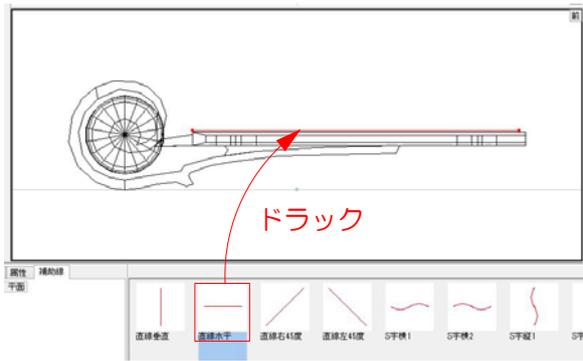
表札の検索の方法は3~6を参照して下さい。



2：表札を選択して加工メニューのeE-Formerをクリックして起動します。



8：eE-Formerが起動します。  
左上「補助線」をクリックします。

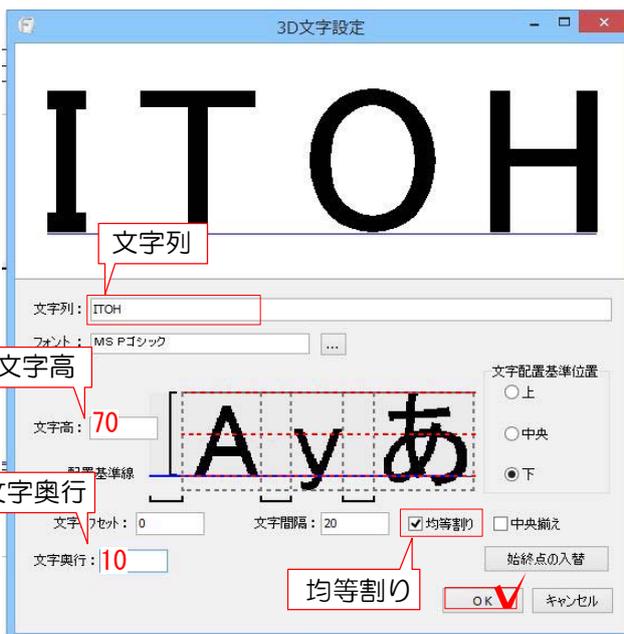


9：3D文字を作成したい部分に補助線をドラックで配置し、長さを調整します。



10：補助線を選択した状態で、3Dメニューの「3D文字」をクリックします。

※他の図形も一緒に選択しているとメニューを選ぶことができません。  
補助線が1つだけ選択されているか確認しましょう。



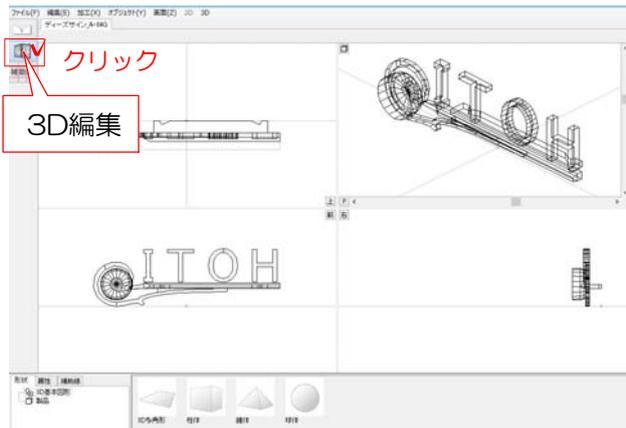
11：文字列に作りたい文字を入力します。  
Enterキーをクリックします。

文字高・文字間隔・フォントなどを設定してOKをクリックします。

※こちらの画面では文字を作る範囲を変えることは出来ません。一度作成画面を閉じて補助線の長さを調節してから作成しましょう。

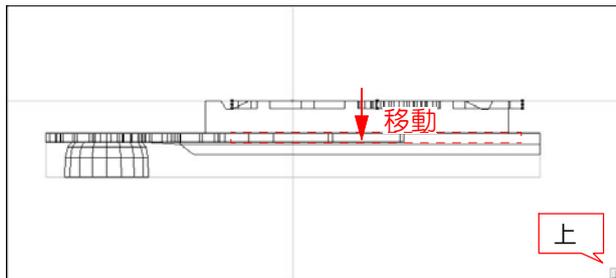
詳しくは

 [おすすめ&新機能→オーセブンCAD](#)  
[11新機能→3D文字作成機能](#)

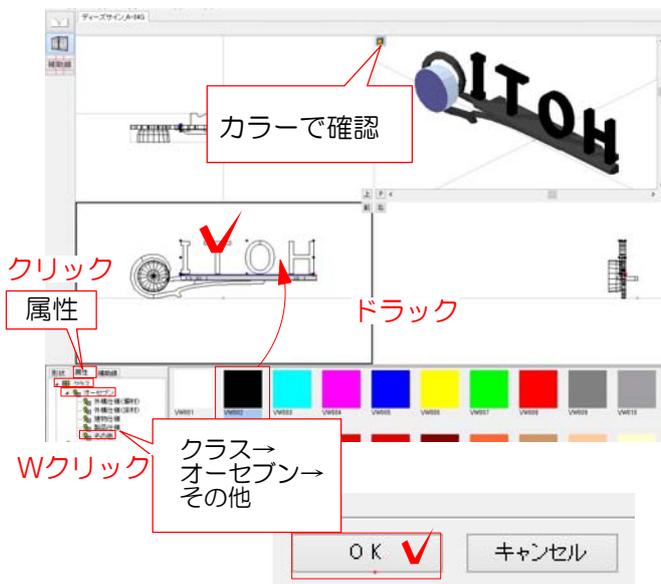


12：3D文字が出来ました。  
左上の3D編集をクリックします。

※3D文字を再度編集したい場合は、作成した3D文字をWクリックすると編集画面が開きます。



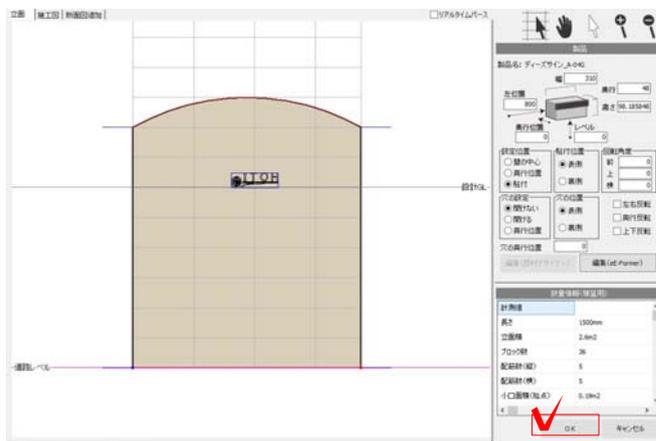
13：上から見た画面で3D文字の位置がずれている場合はドラックで移動します。



14：出来た3D文字を選択して、属性→クラス→オーセブンから仕様をWクリックで選び（「P」以外の画面に）ドラックして仕様を割り当てます。

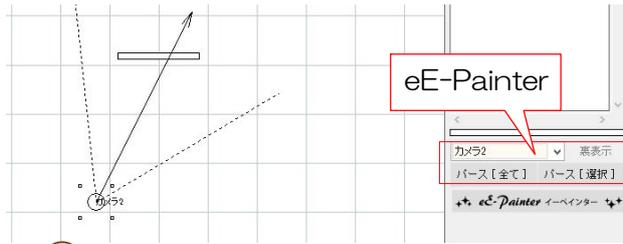
右上「P」の画面のボタン  をクリックするとカラーで確認出来ます。

15：「OK」をクリックしてeE-Formerを終了します。



16：扉に文字の入った表札が出来ます。  
※位置・高さを調整したい場合はドラックして移動します。

「OK」をクリックして扉デザイナーを終了します。



17: カメラを設置してeE-Painerを起動します。



※図面上に直接配置した表札の高さを変更する場合



1: eE-Painterの画面右上矢印カーソルをクリックし、3D移動ツールを選択します。

2: 表札をクリックで選択し、加工メニューの移動をクリックします。

3: Z (高さ) に移動したい距離を入力して「OK」をクリックします。



※または、3D移動ツールで表札を選択し、Altキーを押しながらドラックして高さを調整することが出来ます。



18: eE-Painterで確認します。

テクスチャを変更する場合はレンダリングをクリックしてテクスチャを選び、表札の3D文字にドラックします。

19: 3D文字の入った表札が完成しました。